

## 第24回 長塚 節文学賞

「土」を生んだ歌人で小説家の長塚節を顕彰する「第24回長塚節文学賞」の表彰式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、5月10日に市役所において、神達市長から大賞受賞者に賞状と記念品が授与されました。

今年も全国各地から、短編小説・短歌・俳句の3部門に8,940作品が寄せられ、それぞれの部門の専門家による厳正な審査により、次のとおり大賞が決定しました。

なお、各部門の入賞者の氏名などについては、市ホームページに掲載していますのでご覧ください。

※敬称略



大賞を受賞した風野さん(中央)と船岡さん(左から二人目)

### 短編小説部門 応募数181編

#### ■大賞

作品名「<sup>かぜ</sup>風の<sup>えいこう</sup>曳航」 <sup>かざの</sup>風野 諒一(千葉県市原市)

### 俳句部門 応募数5,065句

#### ■大賞

「<sup>たかし</sup>ひっそりと<sup>ささこ</sup>節の生家<sup>みつぎ</sup>笹子鳴く」 神郡 貢(下妻市)

### 短歌部門 応募数3,694首

#### ■大賞

「生徒らがドライブスルー方式で  
＜秋の詩＞<sup>うた</sup>とう新米を売る」

船岡 <sup>ふさひろ</sup>房公(滋賀県大津市)



現地で被災した家屋の被害認定調査を行う市職員

## 災害支援で南相馬市へ職員を派遣

市では、3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震で甚大な被害が発生し、現在も懸命な復旧活動が続いている福島県南相馬市から、家屋の被害認定調査の応援要請を受け、4月24日から5日間、職員2人(建築士有資格者、家屋調査業務経験者)を派遣しました。

現地では、罹災証明書を発行するための被害認定調査に従事し、外観調査のみの第1次調査だけでなく、外観および内部調査を行う第2次調査まで実施してきました。派遣終了後、庁内で現地での作業内容や復興作業の現状など、活動報告を行いました。

## 未来を担う子どもたちのために

4月22日、水海道ライオンズクラブ(土田博史会長)から「文化・スポーツの振興に役立ててほしい」と20万円が寄付されました。また、5月12日には、石下ライオンズクラブ(倉金一廣会長)主催の第11回青少年健全育成チャリティゴルフ大会がフレンドシップカントリークラブで行われ、集められたチャリティ募金が玉小と豊田小にそれぞれ10万円が寄付されました。そのほか、市立幼稚園や保育所にカラーボール2万個と綱引き用の綱1本、市内小中学校へ布マスクを寄贈いただきました。



倉金会長(左から三人目)から寄付を受け取った玉小の清家校長(右から三人目)と豊田小の川口教頭(右から二人目)



土田会長(中央)から寄付を受け取る岡野教育長